

第1号 (令和6年12月)



爽風だより

学園教育目標「笑顔をつなぐ 未来へつなぐ 東国分爽風学園の学び」

→爽風学園ブログはこちら

→東国分中学校 HPはこちら

→稲越小学校 HPはこちら

→曾谷小学校 HPはこちら

はじめに:爽風学園では、これまでブログを立ち上げるなど周知に努めてまいりました。しかしながら、爽風学園の取組についてはまだまだ周知が足りないのではないかと考え、この度「爽風だより」を発行することにいたしました。

不定期になるかと思いますが、できる限り爽風学園の取組について、3校の保護者の皆様、地域の皆様にお知らせをしていければと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

合同学校運営協議会

11月29日(金)に爽風学園3校による「合同学校運営協議会」が稲越小学校にて開催されました。

学校運営協議会についてはこれまでもお伝えしてきたとおり、各学校で開かれています。それを爽風学園3校の合同で開催し、各校の学校運営協議会委員が一堂に会するのは年に一度の貴重な機会です。

まず、3校の委員がグループを構成するように6グループを作り、テーマを「防災」に設定して話し合いを行いました。

話し合いの後、グループでどのような話が出たのか共有しました。防災はどの地域でも関心の高いテーマであり、このような話し合いには適しています。



この爽風学園の地域は、防災を考える際、地震はもちろん水害が大きな懸念となります。歴史を紐解くと、この地域は国分川や春木川の氾濫に苦しんだ歴史があるようですので、話し合いでも水害への対応が取り上げられていました。

話し合いの後は、稲越小の「ひばりまつり」を参観しました。どの学年もこの日のために一生懸命練習したことがうかがえました。

今回の合同学校運営協議会のような機会があると、爽風学園として“1つ”であることが意識できてよいと思います。

ブルーリボン運動 (爽風学園)

12月4日(水)の放課後、東国分中の生徒会の生徒たちが、小学校に来てくれました。来校の理由は、「ブルーリボン運動」に使用する、リボンの作り方を教えてくれるためです。

ところで「ブルーリボン運動」はご存じでしょうか？

「ブルーリボン運動」というと、一般的には北朝鮮の拉致被害者の生存と救出を願う意思表示をする運動です。政治家などが胸にブルーリボンのバッジを付けているのを見ることがありますね。

しかし今回話題にしている「ブルーリボン運動」は、爽風学園全体を挙げた取組で、「いじめは しない！させない！みのがさない！」をスローガンに、いじめをなくしていこうとするものです。ブルーは「爽風」のイメージから、青色と決めたと聞いています。

この活動に賛同する児童・生徒は、それぞれの学校の児童会・生徒会が作成したブルーリボンをバッグや目に付くところにつけることで意思表示になります。

今回、東国分中の生徒が来校するにあたり、中学生が放課後になってから小学校へ来るのは時刻が遅いし大変だろうから、オンラインで繋いで、それで教えてもらうということで構わない、という提案をしました。



しかしながら、生徒の方から「これはオンラインではなく、直接小学生に教えたい」という要望があったのだそうです。

そのため来校して教えてもらうことになりました。立派な中学生です。その強い「思い」はしっかりと小学生に引き継いでもらいたいと思っています。

そこで、リボンの作り方をしっかり中学生が教えてくれました。

このような爽風学園を挙げた取組はいいものですね。3校の一体感を感じられます。ブルーリボン運動で、いじめのない爽風学園としていきたいです。

爽風学園 今後の運営について

12月10日（火）に3校の校長・教頭・教務主任が稲越小学校に集まり、

今後の爽風学園の運営について話し合いました。

小中一貫教育の良さを実感できる学園としていくために、「持続可能で高い所属意識が期待できる方法」を工夫していこうというものです。

教職員の夏季合同研修会、挨拶運動、ブルーリボン運動、給食交流会、生徒会児童会交流会、爽風カフェ、爽風学園共通ブログ、りんごの棚など、これまでの取組を確認しつつ、継続していくもの、変更を加えるもの、新たに必要なものについて話し合いました。



また新たな連携案も話し合われました。まだまだ、よい爽風学園にしていく手立てはあるはずです。

今後もよりよい学園の運営について一生懸命取り組んでまいります。ご意見をお聞かせ願えればたいへん有難いです。